

Capri カプリ

ローマ皇帝を魅了した天然美の島

アウグストゥス帝やティベリウス帝がヴィラを築いた歴史あるカプリ島。海に囲まれ、山に迫り出す絶景。沿岸に点在する洞窟。皇帝を魅了つけた景観はもろもろ変わらない。島の中心は、崖にあるカプリの町。観光客のもとにカフェが広がるウンベルト1世広場や、ここから眺めるブランド酒、ヴィットリオ・エマヌエーレ通りは世界の旅行客で賑わう。ナポリからの日帰り客が帰路に早く夕刻を過ぎる。景は静けさを取り戻す。東西のひととき。例えばアウグスト公邸まで、プーテンピリアや藤やサボテンなど豊かな植物をあしらった茶室をゆっくりと散策すれば、島のもうひとつの魅力が分かる。時間が許せば、ぜひ1泊したい土地だ。

MAP/P201

アクセス

ナポリから水中電鉄 (Aliscafi) で約40分、フェリー (Traghetti) で約1時間15分。ソレントからは水中電車で約20分、フェリー約30分。いずれも島の北のアンリコ・ウランデ通りに集く。港からケーブルカーで登ると高台のウンベルト1世広場へ。タクシーもあるが、乗入れは広場の手前まで。カプリ・アナカプリ、カプリ・マリナー・ピッコラは15分間隔でミニバスが運行。■ウンベルト1世広場 ☎081-8370686 ●8時30分～20時00分

ダ・ジェンマ

da Gemma (魚介料理ほか)
ホテルの料理人ラファエレさんと、奥島の娘ジェンマさんが知り合って、新婚の美しいナポリに店を開いたのが60年ほど前。今も店内の仲間の大きな窓からは、真っ青な海がのぞく。自慢は Frutti di Mare 海の幸の盛り合わせ (写真参照) し、1万6000を以てめるとする魚介料理。店の名を冠した Spaghetti alla Gemma トマトのペースト、8000円、ピッツァ、ドルチェまで、どれも取ってハズレのないけど、予算の目安は、2万5000円。ウンベルト1世広場から数分歩いた洞窟を抜けてお手前の島にある。Via Madre Serafina 6 ☎081-8370461 ●12時30分～15時、19～24時 ●1月上旬～2月上旬 MAP/P121B3



夏場の食・土曜は予約がベスト

カンフォラ

Cunfora (靴)
デコラティブな飾りをあしらうことで、シンプルなサンダルにスタイルを付けたのが創業者アメデオ・カンフォラ氏。顧客にはジャクリン・オナンスやマリヤ・カラスもいたそう。現在は娘のアンジェラさんが女性同サンダルを専門にあつらえている。用いられた靴底に好みの飾りを組み合わせるセミオーダーで、わずか90分～1時間で出来上がり、1足、1万7千円。パーツはゴールドやシルバーが中心で、カプリの本場に映える華やかさだ。Via Camerelle 3 ☎081-8370487 ●9時30分～22時 (11～4月は3時～13時30分、15～20時) ●なし MAP/P121A3
選の色もチョイスできる



ウンベルト1世広場から西に眺めるローマ通り。みやび感が感じ取れる。向こうは神宮街

リモンチェットロ・カプリ

Limoncello Capri (リモンチェットロ)
レモンとアルコールとシロップからできるレモンのお酒「リモンチェットロ」。イタリアでは家庭でも作られているポピュラーなリキュールだ。アルコール度数は32%となかなか強いけれど、甘くまわやかな飲み口で、夏の夜の食後酒にピッタリ。この店はリモンチェットロを専門にしている店舗の代名詞。ボトルのデザインも可愛く、みやびにも惹かれる。同様にフリーザーに入れて、グラスもキンと冷やして飲むといっそう美味だそう。店頭で試飲もできる。Via Roma 79 ☎081-8375561 ●9時30分～20時 (10～11月～18時) ●1・2月 MAP/P121B2

青の洞窟

Grotta Azzurra (名所)
港に囲まれた多くの人々が目指すのが、ここ。洞窟は長さ54m、幅30m、高さ15mで、入口の高さはわずか1m。外光が水底で反射することで、海水が青く輝く神秘的な光景が生まれるという。カプリの自然美を賞賞できるスポット。マリナー・グランダからモーターボート (丸8000) で洞窟まで行く。小型の船に乗れば、ここで船重17500と入場料丸8000を払い、全行程は1時間ほど。●9時～夜及1時間前 (モーターボートは満員になり次第、随時出発。波の状態によっては欠航) MAP/P121A1

写真の品は1本1万5000程度



洞窟内には5分ほど



太極の南イタリア
小さなお土産を売って、ピッコラ島を愛する人々もいっぱい

太極の南イタリア